2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ムザファラバード郡及びその周辺において、学校再建や学校運営体制改善を目指した研修を含む教育環境整備を実施し、学校教育を強化する。
(2) 事業内容	(ア) 学校校舎の再建及び教育設備の充実 建設開始にあたり、各村と建設業者を含め協議を行い、再建工事を実施した。入札で選定した建設業者により公立の6校(小学校2校:GPS Daban, GGPS Lamnian, 中学校2校:GMS Daban, GGMS Lamnian, 高等学校2校:GHS Daban, GGHS Hotrari)を3月中に同時着工の予定であった。が、Lamnian村のあるハティアンバラ郡では例年になく大雨などの悪天候が続き、同村2校は、整地後3月後半より作業を一時停止したため、遅滞が生じた。また、GGHS Hotrari については、事業開始後に土壌の詳細な評価調査を行ったところ、当初の見込よりも土地の傾斜度合いが高く、長期間の使用による横滑りのリスクが判明し、計画よりも軽量な設計に変更したため、着工が遅れた。しかし、他の5校は基礎工事が完了しており、さらに作業効率を上げて6校すべて事業期間内の完成を予定している。 山間の事業地では事業地に傾斜が多いが、擁壁の設置、ラフト基礎工法など最大限のリスク回避措置を講じ、横滑りやスラブ沈下などの発生を防止している。なお、各対象村では地域住民による運営管理委員会を発足し、事業への協力合意を書面で確認している。 本事業スタッフは対象村と調整し、整地作業や輸送への協力を得るなど事業の円滑化に努めた。同時に、建設の進捗と技術面での質、建設仕様の確認のため、技術担当スタッフ3名が日々サイトを訪問し、現場の監督及びモニタリングを実施している。結果は週報として東京本部へ提出され、事業地の写真とともに逐次確認している。 各学校の工事進捗状況は以下の通り。 * <u>GPS Daban : 全体の45% 完了</u> 整地、造成の後、4月に着工。円柱用のスチール設置、及びコンクリート補強工事が完了。今後、補強コンクリートブロック塀の作業を予定。 * <u>GMS Daban : 40% 完了</u> 整地、造成の後、4月に着工。上部建築部分のコンクリートブロック設置が完了した。円柱の工事が進行中である。 * <u>GHS Daban : 47% 完了</u> 整地、造成の後、4月に着工。上部建築部分のコンクリートブロック、及び円柱の工事が完了し、ドア枠を設置した。梁の組積作業を継続中。 * <u>GGPS Lamnian : 15% 完了</u> 整地、及び敷地の造成工事が終了し、6月初旬に着工した。今後は基礎コンクリート打設の作業を予定している。 * <u>GGMS Lamnian : 17% 完了</u> 整地、及び敷地の造成工事が終了し、6月初旬に着工した。今後は基礎コンクリート打設の作業を予定している。 * <u>GGHS Hotrari : 5% 完了</u> 軽量設計への変更が5月末に確定し、現在、整地作業が進行中。

	(イ) 教師及び保護者への教育環境改善を目指した研修実施と生徒会の組織化 教師の研修は 8 月 4～6 日、SMC¹ の研修は 7 月 28～29 日、生徒会の研修は 8 月 18～25 日の間に実施を予定している。なお、各研修 2 回目は 10 月に実施の計画である。 (ウ) 政府関係当局や教育関係者の経験ノウハウの共有・普及と発展 ニュースレター” Naya Din” 次号は、対象学区の住民や教師への聞き取り結果などを記事にし、その校正刷りが済んでいる。6 月末に関係者に配布し、その後 8 月、11 月と発行が続く予定。再建中の学校やパキスタン地震復興庁 (ERRA)、SMC、ムザファラバード郡復興局などの関係者に各回計 100 部配布する。 また、関係当局、教師及び SMC 計 68 名が参加する防災（災害リスク軽減）研修は 8 月 11～12 日の 2 日間開催の予定である。研修講師と共同で企画、作成されたモジュールは、特に保護者や関係行政を巻き込みながら学校環境においてどのように災害に備えていくか、というテーマを焦点に、参加型の形式をとりつつ教育課程への具体的な組込み方、及び各アクターの役割まで議論する。
(3) 達成された効果	(ア) 教育環境の再整備と基礎教育へのアクセスの改善 校舎建設の途中であるため、成果を図る段階に至っていない。しかしながら、各村で結成された管理運営委員会は、当局へ働きかけることで建設中の子どもの学習スペースを確保したり、資機材輸送のための行路をボランティアで工事するなど積極的に動き始めている。教育環境の整備にはソフト・ハード両面で住民の協力が不可欠であるとの教訓が得られている。 (イ) 教師の能力向上と地域や生徒の参画による学校活動の質向上 SMC 及び生徒会の構成と組織については確認されたが、教師を含め、研修がまだ実施されていないため、完了報告でその成果を報告する。 (ウ) 地域社会における教育への意識向上、及び教育関係者の能力向上とネットワークの強化 ニュースレターの配布、及び防災ワークショップの開催後、完了報告でその成果を報告する。
(4) 今後の見通し	工事進捗の遅滞に関しては、建設現場の労働力と従事時間を増加すると同時に資機材を事前確保し、作業効率をあげて建設を進めるなどして、事業期間内に全校の竣工が達成される見通しである。設計変更により遅れて工事を開始した GGHS Hotrari については、資機材が軽量化することで輸送の負荷が軽減されるため、工期自体も短縮される。 教師、SMC、生徒会に対する研修は、安全確保に配慮しながら、事業全体の進捗を鑑みつつ、柔軟に実施する予定である。

¹ School Management Committee の略。日本の PTA に相当する。